

2020 年度
社会学研究科入学試験問題(修士課程)

—2019.9.2—

科目「社会学」

以下の【問1】と【問2】に解答しなさい。それぞれ別の解答用紙を用いること。

【問1】 次の12の用語のうち、4つを選んで説明しなさい。選択した用語の番号を明記すること。

1. 文化資本
2. 限定交換と一般交換
3. 心理的リアクタンス
4. 行為の4類型（ヴェーバー）
5. 空間の生産
6. ファンダメンタリズム
7. 計画的行動理論
8. 脱埋め込み(disembedding)
9. 契約の非契約的要素
10. ディアスpora
11. ゴフマンの「アサイラム」
12. 存在脅威管理理論

【問2】 次の8問から2問を選んで解答しなさい。選択した問題の番号を明記すること。

1. 社会学における自己論を用いて、身近な社会問題について、論じなさい。
2. 協力行動の促進における選択的誘因の効果と課題について論じなさい。
3. 物質性(materiality)をめぐる社会学的アプローチについて論じなさい。
4. 「民族誌を書く」ことについて、文化人類学の議論をふまえて論じなさい。
5. マルクスの搾取という概念は、現代的な意義を持つか、それとも持たないか、論じなさい。
6. U.ベックが指摘する社会のリスク化と個人化について、具体的な例を挙げながら説明しなさい。
7. 人種と民族について論じなさい。
8. イノベーション普及におけるチェンジ・エージェントの役割について論じなさい。

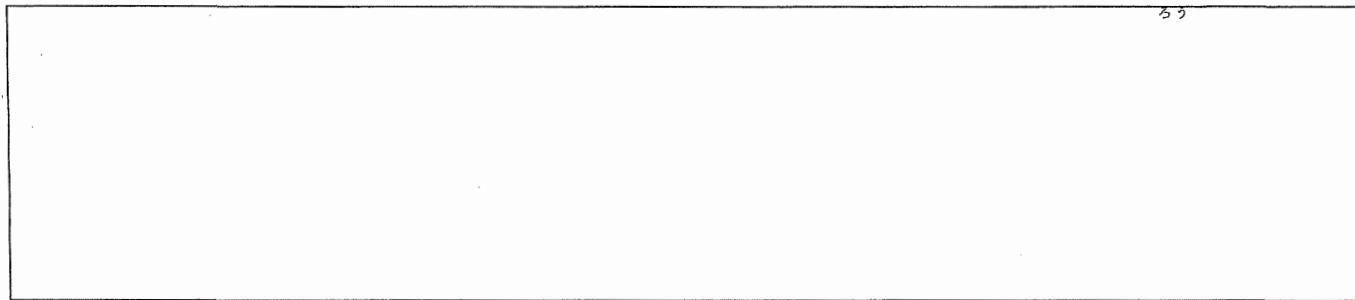
2020年度
社会学研究科入学試験問題(修士課程)

——2019.9.2——

科目「教育学」

※指示に従って以下の問い合わせに答えなさい(問題I、IIの解答はそれぞれ別の解答用紙に記入すること。また問題IIについては、選択した問題番号を必ず解答欄の冒頭に明記すること)。

問題I 以下の文章は、福澤諭吉が1889(明治22)年8月5日に『時事新報』の社説として発表した「文明教育論」の一節である。あなたの教育への関心から論評しなさい(共通問題。受験者全員が解答すること)。



【出典】山住正己編『福澤諭吉教育論集』岩波書店、1991年、p.135。

問題II以下の4問の中から1問を選択し、解答欄の冒頭に選択した問題番号を明記した上で、解答しなさい。

問1:カントは『啓蒙とは何か』(1784年)で、「啓蒙とは人間が自ら招いた未成年状態から抜け出ることである。未成年状態とは、他人の指導なしには自分の知性を用いる能力のないことである。…(中略)…したがって、啓蒙の標語は、…(中略)…「自分自身の知性を用いる勇気をもて！」である。」と述べている。そして、これを前提に、『教育学講義』(1803年)では、「教育の最も重要な問題のひとつ」として「私は強制があるにもかかわらず自由[を使用する能力]をどのように開発していく[ことができる]のだろうか」という近代教育の根本問題を提出している。この問題についてあなたはどう考えるか。哲学的ないしは思想史的に論じなさい。

問2:従来、日本教育史研究はこの国の諸動向のみに視線を投ずる「一国史」や、学校教育の史的展開のみに着眼する「学校史」という傾向を帶びていたといわれる。この「一国史」ならびに「学校史」という傾向をもたらした要因として何が考えられるのか、またこの傾向を克服する研究の視座ないし方法論としていかなるものが求められるのか、あなたの所見を記しなさい。

問3:比較教育学において、「教育借用(educational borrowing)」が批判の対象になることがある。それはなぜか。あなたの研究テーマ・関心に基づいて、具体例をあげながら、論じなさい。

問4:あなたが本塾の修士課程に入学できたら探求したいといふ考えている教育・発達・学習に関する研究テーマを簡潔に説明し、それが広い意味での心理学とその関連領域(発達心理学・認知心理学・学習心理学・社会心理学・進化心理学のような心理学の諸分野のみならず、社会学、文化人類学、教育経済学、行動遺伝学、脳神経科学、比較認知科学など関連領域を含む)のどの理論や専門的な概念と結びつけ、どのような方法論でアプローチし、どのような結果や知見を得ることを期待しているか、論じなさい。その際、あなたが結びつけようと考えている理論や専門的な概念にアンダーラインを引きなさい。

2020年度
社会学研究科入学試験問題(修士課程)

——2019.9.2——

科目「心理学」

下記の6問から4問を選択して解答しなさい。

1. 幼児における「視点取得 (perspective taking)」の発達について実験研究をひとつ取りあげ、具体的に論じなさい。
2. 加齢に伴って、視覚や聴覚能力はどのように変化するか、それぞれ目や耳の生理的機能の変化もあわせて述べなさい。
3. 二重過程理論のいう二つの過程（システム1とシステム2、など）と気分（mood）の関係について論じなさい。
4. Semantic Differential 法 (SD 法) の手続きとその分析方法について具体的に述べ、その意義と問題点について論じなさい。
5. 感情の持つ機能的役割について、認知神経科学の観点から論じなさい。
6. コントラスト感度特性 (contrast sensitivity function, CSF) について説明した上で、視力 (visual acuity) と比較しながら CSF を測定することの意義について視覚心理学の観点から述べなさい。

2020 年度
社会学研究科入学試験問題(修士課程)

—2019.9.2—

科目「小論文」

2問とも、答えてください。

- I 中央教育審議会は、2019年1月25日に「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」という答申を出しました。その第4章は「学校及び教師が担う業務の明確化・適正化」という章になっています。「教師は専門職である」という観点から、あなたが考える「教師が担う業務の明確化・適正化」について論じてください。
- II 現職教員は、教職大学院に入学して研修を行うのが一般的ですが、慶應義塾大学大学院社会学研究科教育学専攻のような学術大学院で研修を行う場合もあります。教職大学院で学べることと学術大学院で学べることの共通点・相違点について、あなたの研究課題に関連させて論じてください。